

2022年度 リデュース率は19.7%、リサイクル率65.0%
自主回収量は、前年実績から3,125ト増

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会は、プラスチック容器包装の自主行動計画2025(第4次自主行動計画:2021-2025年)に基づく、2022年度のリデュース率、リサイクル率の実績を纏めました。

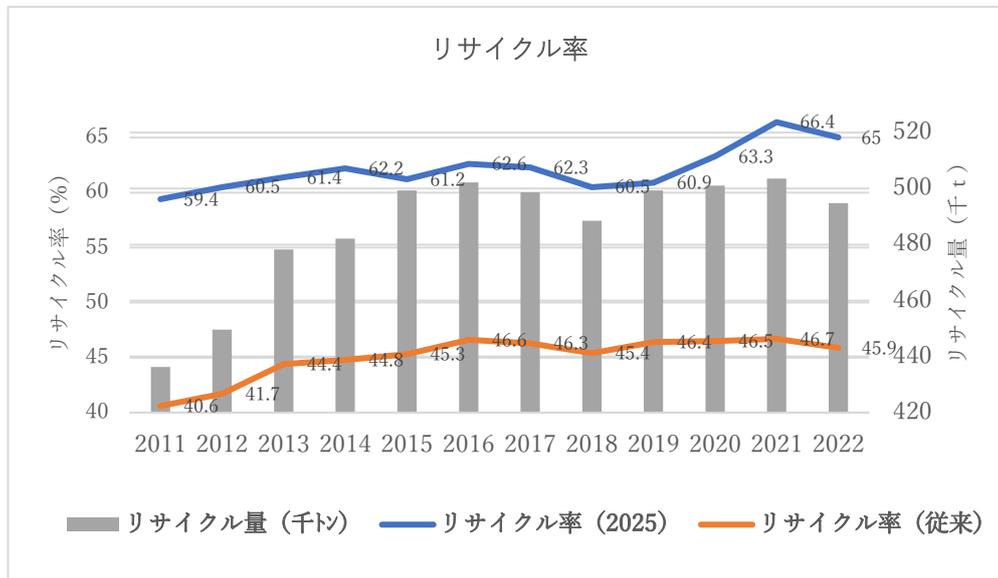
それによると、2022年度のリデュース率は19.7%(累計リデュース量は121,181ト)、リサイクル率は65.0%(2022年度リサイクル量494,567ト)でした。

2022年度のリデュース率は、前年を0.6ポイント上回り、累計リデュース量は前年累計量から1,306ト増加しました。なお、リデュース率は、プラ推進協加盟の16の容器包装利用事業者の団体会員が集計した実績を基に算出しました。

また、2022年度のリサイクル率は、前年から1.4ポイント下回る65.0%で、目標の60%以上を維持しました。リサイクル率が前年実績を下回ったのは、容リ協会が集計した再商品化実績のうち、ケミカルリサイクル量が前年を下回ったことが主な要因です。一方、事業者の自主回収量は前年実績に対して3,125ト増の45,125トとなりました。事業者の着実な自主回収の取組みを示す結果となりました。

2025年度目標と2022年度実績

	2025年度目標	2022年度実績	
リデュース率	22% (累計)	19.7%(累計)	121,181 トン(累計量)
リサイクル率	60%以上 (従来の算定方式 46%)	65.0% (45.9%)	494,567 トン



リサイクル率 = (C + D) ÷ (E + D)

C : 当該年度の再商品化量((公財)日本容器包装リサイクル協会の当該年度の公表値)

D : 当該年度に特定事業者が自主的に回収・リサイクルした量

E : 当該年度市町村回収量 (リサイクル協会の当該年度の公表値)



リデュース率 = A ÷ B

A : プラスチック容器包装累計
リデュース量 (2005 年度か
ら当該年度までの累計リデ
ユース量)

B : プラスチック容器包装の当
該年度推定使用量 (A + 当該年
度のプラスチック容器包装使用量)

以上